

9
環境
配慮
改修
工事

①

石綿含有建材の除去工事
〔9. 1. 1～6〕

2

断熱材
〔9. 3. 2～3〕

3

屋上緑化改修工事
〔9. 4. 2～4〕
〔2. 3. 5. 4〕

4

透水性アスファルト舗装
〔9. 5. 3～6〕
〔9. 5. 9〕

10
ユニ
ット
及び
そ
の
他
工
事

①

フリーアクセスフロア
（2. 0. 2. 2）

②

表示
（2. 0. 2. 11）

3

ブラインド
（2. 0. 2. 14）

4

ロールスクリーン
（2. 0. 2. 15）

⑤

カーテン及びカーテンレール
（2. 0. 2. 16）

⑥

点検口

7

階段手すり笠木

8

天井見切り縁

9

ビクチャーレール

10

視覚障害者誘導用ブロック

11

屋根改修工事

施工業者
本工事に相応した技術を有することを証明する資料を、監督員に提出すること。

石綿粉じん濃度測定
測定時期、場所及び測定点

適用	測定名称	測定時期	測定場所	測定点 (各施工箇所ごと)
・測定1	処理作業前	処理作業室内	・各1点・各2点	・各3点
・測定2		調査対象室外部の付近	・計1点	・計2点
・測定3		処理作業室内	・各1点	・各2点
・測定4	処理作業中	負圧・除じん装置の 排出取出口	・各1点	・各2点
・測定5		処理作業室外（敷地境界）	・計1点	・4方向各1点
・測定6	処理作業後 （シート養生中）	処理作業室内	・各1点	・各2点
・測定7	処理作業後シート	処理作業室内	・各1点	・各2点
・測定8	撤去後1週間以降	調査対象室外部の付近	・計1点	・計2点

測定方法

	測定3	測定1, 2, 4, 6, 7, 8	測定5
メンブレンフィルタ直径 (mm)	25	25	47
試料の吸引流量 (l/min)	・1	・5	・10
試料の吸引時間 (min)	・5	・120	・240

石綿含有建材の処理

- 石綿含有吹付け材の除去
 - 除去対象範囲 ※図示
 - 除去工法 ※改修標準仕様書9. 1. 3 (2) (ア) による
 - 除去した石綿含有吹付けの飛散防止措置 ※湿潤化・セメント固形化
- 石綿含有保温材等の除去
 - 除去対象範囲 ※図示
 - 除去工法 ・切断又は破砕 ・手ばらし
- 石綿含有成形板等の除去
 - 除去対象範囲 ※図示
 - 作業場の隔離 ・行う ○行わない
- 石綿含有仕上塗材の除去
 - 除去対象範囲 ※図示
 - 汚泥としての処理 ・行う ※行わない

石綿等の取扱いについては、石綿障害予防規制（平成17年厚生労働省令第21号）を順守するとともに、解体撤去にあたっては、改修工事標準仕様書によること。

- ・断熱材の打ち込み及び張付け

発泡剤の種類	種類	厚さ (mm)	施工箇所
・発泡プラスチック断熱材			

- ・断熱材現場発泡工法

断熱材の種類 ・A種1 ・A種1H （製造所 評価名簿による）

厚さ (mm) ・25 ・30

施工箇所 ※窓回り等の断熱材補修部分、ルーフドレン回りの床板下等、部分的に後張りとしなければならない箇所

- ・図示

植栽基盤及び材料 （品質・性能等 追補による）

- ・屋上緑化軽量システム

芝及び地被類の樹種並びに種類等 ※図示

見切り材、舗装材、排水孔、マルチング材等 ※図示

工法

建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法を施工計画書として提出する。

建築基準法に基づき定められた区分等は、1改修一般共通事項 2. 2耐荷重及び耐外力による。

支柱 ・設置する（種類 ・図示）

かん水装置 ・設置する（工事区分は図示による）

既存保護層の撤去 ・行う ・行わない

新植した芝及び地被類の枯損償の期間 ※引渡しの日から1年 ・無し

路床の構成及び厚さ

・遮断層	厚さ (mm)	※150
・凍上抑制層	厚さ (mm)	※150
・フィルター層	厚さ (mm)	車道部 ※150
		歩道部 ※50

路床安定処理

- ・行う

※添加材料（）

・ジオテキスタイル 単位面積質量 60g/m2以上

厚さ (mm) 0. 5～1. 0

引張強さ 9. 8N/5cm (10kgf/5cm) 以上

透水係数 1. 5×10cm/sec以上

盛土の種類 ・A種 ・B種 ・C種 ・D種 ・建設汚泥から再生した処理土

路床土の支持力比 (CBR) 試験 ・行う ・行わない

路床の締固め度試験 ・行う ・行わない

発生土の処理 ※別途追補による

路盤材料

- ・再生クラッシャー
- ・クラッシャー鉄鋼スラグ

路盤厚さ (mm)

車道部	※150
歩道部	※100

路盤の締固め度試験 ・行う ・行わない

舗装材料及び厚さ

車道部	※ポリマー改質アスファルトⅠ型
厚さ	※50
歩道部	※ストレートアスファルト
厚さ	※30

透水性アスファルト混合物等の抽出試験 ・行う ・行わない

施工箇所

構法

仕上り高
(mm)

耐震性能

所定耐重

表面仕上げ材

寸法

○バネル構法

・清構法

○1. 0G
・0. 6G

○3. 000N
・5. 000N

・帯電防止タイル
・タイルカーペット

・500×500

構成材の材質 ・アルミニウム製 ○鋼製

帯電防止性能 ・

漏えい抵抗 ・

スロープ及びボーダー ・※製造所の仕様による ・図示

耐荷重性能 (5000N) の性能

平成元年建設省告示第1322号『耐震型フリーアクセスフロアの開発』の建設技術評価において評価を取得したもの、又は同等のものとする。

ローリングロード性能 ※適用する ・適用しない

ローリングロード試験

耐荷重性能 (3000N) : 積載荷重1. 000Nの際、最大変形量1. 5mm以下 (使用上有変な変形、欠け、割れ、がたつきなどの欠点がないこと)

耐荷重性能 (5000N) : 積載荷重1. 000N以上の際、最大変形量1. 0mm以下 (使用上有変な変形、欠け、割れ、がたつきなどの欠点がないこと)

区分	材質	寸法 (mm)	厚さ (mm)	取付高さ (mm)	書体
・衝突防止表示 (・両面 ・片面)	・ステンレス製 ・図示	・30	・市販品	※図示	※図示
○室名札 ・ピクトグラフ	○アクリル板 ・図示	※図示	・5	※図示	※図示
・庁舎案内板 ・各階案内板	・アクリル板 ・図示	※図示	・5	※図示	※図示
・	・	・	・	・	・

案内用図記号は、JIS T 8210 による。

誘導標識及び非常用出入口表示等は、消防法に適合する市販品とする。

形式	寸法 (mm)	種類	アライの材質	アライ幅 (mm)	アライの材質	取付箇所
※縦形		※バネ式 ・コード式 ・操作棒式	※7Aに合金製	※25	・鋼製	・図示
・縦型		・1本操作棒式 ※2本操作棒式	・7Aに合金製 ・加工アライ	・80 ・100	※7Aに合金製	・図示

材質	操作方式	遮光性能	寸法 (mm)	備考
※ポリエスチル	・電動式	・遮光性能	・図示	
・綿	・スプリング式	・2級		
・	・チェーン式	・3級		

ひだの種類	形式	開閉操作	施工取付箇所	備考
・つまみひだ	・シングル	・電動		
・箱ひだ	・ダブル	・手引き		
・片ひだ		・手引き		
・ブレーションひだ				
・				(暗幕)
・				

カーテンレール

材質 ※アルミニウム製 ・ステンレス製

形式 ・片引き ○引分け (暗幕用は300mm以上の召合せの重掛けとする。)

形状 ・C型 ・D型 ※角形

仕上げ ・アルマイト

○天井点検口

材質	寸法	形式	外枠	内枠	枠の許容差	外枠と内枠の クリアランス
※アルミニウム製	○450×450	○一般形	・鋳鉄タイプ	・鋳鉄タイプ	±0. 5mm	片側2. 0mm
・600×600	・屋内外用	○目地タイプ	○目地タイプ		以内	以内
・鋼製	・屋内用	・結露防止形				
・鋳鉄製						

・床点検口

材質	寸法	形式	枠の許容差	受枠と蓋枠の クリアランス
※アルミニウム製	・450×450	・一般形	受枠、蓋枠とも	片側
・ステンレス製	・600×600	・密閉形	±0. 5mm以内	2. 0mm以内
・鋼製		・結露防止形		
・鋳鉄製				

一般形：パッキンを装着しないもの、又はがたつき防止用パッキンを装着したもの

密閉形：ボルト、ナット等のメカニカル構造にパッキンを装着したもの（品質・性能等 追補による、製造所 評価名簿による）

材質 ビニル製 (形状は図示)

材質 ※アルミニウム既製品 ・塩化ビニル既製品

※見切り縁兼用タイプ

移動フック かん所/m

安全荷重 ※15kg以上

材質 ・コンクリート製 (厚さ60mm)

形状 JIS T 9251による

寸法 (mm) ※300×300

色 黄色

施工業者

施工技術、品質管理に関して指導を行っている愛媛県板金工業組合屋根事業部の組合員又は施工技術に関し当該団体の組合員と同等以上の技術を有すると監督員が承認する施工業者とする。

令和6年度

工事番号・工事名

小松高第1号

愛媛県立小松高等学校第一教棟外内部改修工事